

# 南区障害者基幹相談支援センターだより 10月号



## ～ 自立支援連絡協議会活動報告 ～

2021.10月

### <南区自立支援連絡協議会運営について>

令和3年度も半期が過ぎました。昨年に引き続き、常に緊張感を持った日々が続いています。緊急事態宣言は解除となりましたが、愛知県嚴重警戒措置が適応され、まだまだ気が抜けない日々が続いています。

南区自立支援連絡協議会では、こんな時だからこそ、「つながり続けよう」と、ウェブを利用した会議や研修を開催しています。はじめはかなり戸惑いましたが、1年以上たった今はずいぶん慣れてきました。慣れてみると、案外便利に使えています。でも直接お会いしてお話するのが一番ですけどね。

コロナ禍で、当事者・ご家族の皆さんの暮らしもずいぶん変化しました。イベント中止や外出制限などで、楽しむ場所も思うようにはありません。支援者の皆さんからもたくさん課題をいただいています。これらを考えていく場として活動を続けていきたいと思えます。

### <福祉関係事業所連絡会>

第1回福祉事業所連絡会を、10月28日(木)に行います。今年度も、新型コロナウイルス感染状況から、多くの事業所が一堂に会することは避け、Zoomを利用したオンラインでの研修です。

テーマは、「精神障がい者の支援について」。はじめに、南区障害者基幹相談支援センター サテライトに、今年度から赴任した小野原相談員から、基本的な知識を、講義します。続いて、事前アンケートや講義内容をもとに、現場で実際に悩んでいることなど、具体的な質疑応答を行う予定です。

昨年度は、事前のZoom接続テスト希望を沢山いただきましたが、今年度はごくわずか。「新しい生活様式」に合わせ、オンライン研修が定着してきた印象があります。

## <児童の生活を考える会>

感染症が落ち着く気配がなかなか感じられず、6月のワーキンググループはオンラインにて開催しました。子どもたちの生活と活動を保障するため、感染予防に最大限配慮しながら日々の支援に尽力されている皆さんのお話を伺いました。くり返し伝えることで手洗いなど子どもたちの生活に根付いてきているという話や、間近に迫る夏休みの活動について様々なアイデアが聞かれ、改めてアンケートにてプログラム内容やクッキングの取り組みなどについて意見をお聞きし、結果を皆さんと共有しました。

今年度の『みなみっこフェス』は、様々な制限のある中で過ごしている子どもたちに思い切りあそぶ機会と場所を提供することを目的に、東亞合成体育館をお借りして開催しました。他事業所のお子さんとお交わることを避けるため、各事業所ごとでその時間帯は貸し切りとし、エアートランポリンなどの遊具でからだを動かしてあそびました。暑い日でしたが、水分補給や休息をとりながら汗をいっぱいかいてあそんだ様子や、久しぶりの友だちとの外出にワクワクしていた様子だったと感想をお聞きしています。

## <相談支援連絡会>

昨年度に引き続き、zoom を使いリモートでの活動を月1回継続してきました。研修では「精神障害の方の支援について」医療機関との連携で感じていることの意見交換や、保健センター相談員・基幹サテライト相談員から助言をしていただきました。その後、相談支援専門員現任者研修でも注目されましたインフォーマル支援、地域とのネットワークを構築していく必要性について事例を通して検討したり、ケースメソッド技法を使い、課題を整理し、まずは何をすべきか意見を出し合いました。

普段は既にサービスを使っている方を支援している相談員さんにとって、サービスの中だけでなく地域で生活し生きている方なんだと意識し確認する機会となりました。地域に向けて相談員もアウトリーチが必要なことは、感じていても一人では一歩が踏み出せないことがあります。地域と繋がるための手段を知り協力を得ていくことで、それが住みやすい地域づくりとなっていくのを感じた前半期でした。後半期も zoom を駆使して、代表さん達と考えた研修を行っていきたいと思います。

### ＜地域福祉力を伸ばそう＞

おとし、区内の中学生むけに「こころの健康 ピアサポーター講座」を開催しました。ピアサポーターとは、「友達や知り合いのこころの変化に気がつき、声をかけ、話を聴く人」のこと。中京大学心理学部の川島先生や、大学生・大学院生の皆さんとともに、カードを使ったゲームを通して、悩んだときに相談できる場所があることを、楽しく学びました。

昨年度は、コロナ禍のため、残念ながら、開催を断念。今年度は、検討の結果、オンラインで開催することにしました。現在、11月6日(土)の開催に向けて、川島先生・ゼミ生・子ども応援委員会とご相談しながら、準備中です。今年度も、校長会のご理解のもと、区内7つの中学校に、広報にご協力いただいています。今年度は、オンラインで、実際の相談窓口と結び、「話をきく体験」も行います。

### ＜地域生活支援拠点の面的整備の会＞

昨年度に引き続き、ZOOM を活用したオンライン会議を開催。

「お助けショートステイ」の登録希望について、よりよい支援の在り方を検討し、現在まで18名の方に登録いただいています。将来の自立に向けた「お試しグループホーム」という制度も、少しずつ利用が始まっています。

地域生活支援拠点事業の周知のため、拠点事業所・基幹センター・区役所にパンフレットを設置させていただきました。さらに、区内の相談支援事業所にもパンフレットを送付し、より広い周知を進めています。

発行元：南区自立支援連絡協議会事務局

南区障害者基幹相談支援センター

TEL：052-822-3001 / FAX：052-822-3035